

かぐらまち協

令和3年3月31日発行 発行／神楽まちづくり推進協議会 編集／広報誌編集委員会

コロナ禍の中での活動に気を引き締めました

私が当協議会の委員に就任したのが、東北大震災後の平成24年でした。誰も自然災害の恐ろしさを目のあたりにして、防災・減災の重要性を認識し、当協議会の事業は、その年より平成29年までの6年間、「地域防災力の向上事業（防災手帳作成）」、「安全安心な地域づくり事業」、「防災訓練事業」に取り組んで参りました。その後は、現社会の課題である「子どもの居場所づくり事業」、「高齢者の居場所づくり事業」、「エコな地域づくり事業」に係わってきましたが、昨年の2月にクルーズ船での新型コロナウイルスの集団感染が発生し、その後、国内中に感染が拡大し、緊急事態宣言が発令され、4～5月には、学校の休校、公民館・地区センターなどが休館となり、当協議会の会議・事業の休止を余儀なくされました。6月に緊急事態宣言が解除されたとは言え「子どもの居場所づくり事業」、特に感染リスクの高い「高齢者の居場所づくり事業」の再開には、万が一感染した場合に責任を負えるのかと、自問しましたが、道・市の感染防止対策の指針に基づき感染防止対策を徹底して事業を継続する事にしました。お陰様で、その後は予定通り事業を実施する事が出来、参加者の皆様のご期待に添えたものと思っております。但し、次年度も変異型ウイルスの感染リスクが問われる中、ワクチン接種等の予防により、一日も早く終息することを願い、事業を継続して参りますので、皆様のご協力をお願い致します。



会長 佐藤 郁弘

気持ちを新たに課題解決に取り組みます 新委員で神楽まち協がスタート

神楽まちづくり推進協議会は、神楽本町・神楽宮前・高野・神楽岡の4地区市民委員会や地区社協、地区民生委員児童委員協議会等の各種団体から推薦を受けた委員12名と公募委員3名の計15名で構成されていますが、令和2年度に委員の改選（任期2年）があり、うち8名が新たに就任しました。昨年4月から5月にかけての新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、初回の会議が7月にずれ込みましたが、今年3月迄計5回の会議を開催し、地域課題の解決方策について意見交換を行いました。第1回目の会議で佐藤委員を会長、中條委員を副会長に選出し、その後の会議では、今年度、前期委員からの引継ぎにより事業を継続している「神楽公民館での学習支援」及び「木楽輪での歌サロン」のほか、どのような課題解決に取り組むか、委員間で意見交換を行いました。その結果、「中学・高校の制服に特化した譲渡会の開催～エコな地域づくり事業」及び「広報誌の発行継続」に取り組むことを決定しました。また、旭川医大看護学科が主催する「健康セミナー」に協力することを確認したほか、令和3年度にどのような取り組みを優先して行うか検討した結果、令和2年度に実施した4つの事業をさらに充実させるべく、継続して取り組むことを確認し、誰もが安心・安全に暮らせる地域を目指して、今後も活動を進めて行くことになりました。



※神楽まちづくり推進協議会をはじめ市内15の地域まちづくり推進協議会の活動内容は、旭川市のホームページで閲覧できます。

看護師さんの卵が健康チェックします

旭川医科大学看護学科との共催で健康セミナー開催

旭川医大看護学科の学生が、地域住民の健康チェックを行う健康セミナー「わたしのみんなのげんき種2020」が、昨年11月1日に神楽公民館「木楽輪」で開催されました。このセミナーは、神楽まちづくり推進協議会が旭川医大看護学科の教育実習の機会提供に協力することにより実現したもので、当日は50歳以上で神楽地区にお住いの13名が参加しました。学生1名と住民1名が組となり、血圧測定や歩行能力テスト、筋肉量等の体組成計測、1分間にどれだけ多くの言葉を想起できるかななどのテストを行い、参加者の皆さんは「自分の健康状態を知り、健康づくりのヒントを見つける有意義な時間を過ごしました」との感想を述べていました。神楽まちづくり推進協議会では、今後も継続して協力していくこととしており、旭川医大では、今年7月頃にも「健康セミナー」の開催を検討しています。



血圧測定～いつもより高めかな？



筋肉と体脂肪のバランスチェック

令和2～3年度 神楽まちづくり推進協議会 委員名簿

会長	佐藤 郁弘	神楽岡地区市民委員会総務部長理事
副会長	中條 光廣	高野地区市民委員会副会長
委員	岡 愛三	神楽本町地区市民委員会会長
〃	長谷川 隆夫	神楽宮前地区市民委員会副会長
〃	梁川 直樹	神楽本町地区社会福祉協議会事務局長
〃	佐古 光臣	神楽宮前地区社会福祉協議会事務局長
〃	宮嶋 睦子	神楽地区民生委員児童委員協議会会長
〃	上林 里美	神楽・西神楽地域包括支援センター保健師
〃	江口 貴彦	旭川市立神楽中学校校長
〃	石川 雅之	旭川市立神楽岡小学校PTA会長
〃	島田 成人	あさひかわ商工会事務局次長
〃	藤田 嘉之	旭川市消防団第12分団部長
〃	大西 雅人	公募委員
〃	和田 明典	公募委員
〃	松本 清美	公募委員
事務局	樽井 里美	旭川市市民生活部次長・神楽支所長
〃	十川 めぐみ	旭川市神楽支所市民係長
〃	前田 聡	旭川市神楽支所市民係主査
〃	住吉 人	旭川市神楽公民館長
連絡先	旭川市神楽支所	☎61-6191 FAX61-8293

【過去の取組事業】

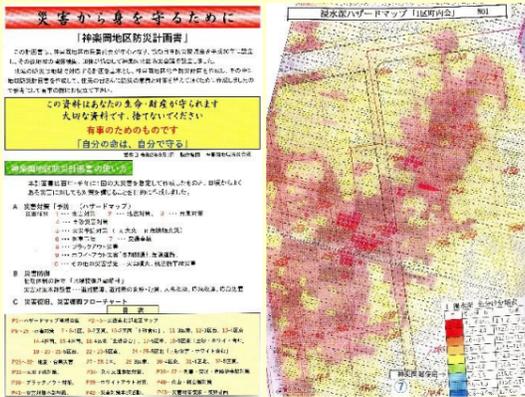
平成22年度	事業・イベント特集発行
平成23年度	地域紹介パンフレット発行
平成24年度	地域防災力の向上事業
平成25年度	地域防災力の向上事業
平成26年度	地域防災力の向上事業
平成27年度	安全安心な地域づくり事業
平成28年度	安全安心な地域づくり事業
平成29年度	神楽地区防災訓練事業 神楽岡地区エコな地域づくり事業 こども食堂「楽っころム」事業
平成30年度	広報誌発行事業 神楽地区エコな地域づくり事業 神楽地区子どもの居場所づくり事業 神楽地区高齢者の居場所づくり事業
令和元年度	広報誌発行事業 神楽地区エコな地域づくり事業 神楽地区子どもの居場所づくり事業 神楽地区高齢者の居場所づくり事業

旭川市地域まちづくり推進事業

神楽岡地区市民委員会

令和元年度 神楽岡地域防災計画作成事業

令和2年度 神楽岡地域防災マップ作成事業



防災マップ表紙 5mマス目に表示した浸水マップ

近年は、想定外の大災害が頻発する中、神楽岡地区市民委員会が中心となり、平成30年に「神楽岡地区自主防災協議会」を設立し、平成元年に、旭川市の地域まちづくり推進事業（単独分～旧市民委員会チャレンジ事業）を申請し、「神楽岡地域防災計画作成事業」を実施。令和2年度に、防災計画に基づいた「防災マップ作成事業」を申請して採択され、町内会毎に網羅した詳細な防災マップ（全44ページ）を完成させ、全戸配布を行いました。コロナ禍が終息したら「防災訓練」の実施を予定しています。



広報誌「神楽まち協」は下記QRコードで閲覧できます。

- 平成30年度＜前期号＞ 9月発行
前年度の活動結果・平成30年度の事業掲載
- 平成30年度＜臨時号＞10月発行
平成30年度の事業日程を掲載
- 平成30年度＜後期号＞ 3月発行
平成30年度の事業・活動結果を掲載
- 令和元年度＜前期号＞10月発行
令和元年度の事業内容・日程を掲載
- 令和元年度＜後期号＞ 3月発行
令和元年度の事業・活動結果を掲載



スマホ・携帯電話のQRコード読み取り機能を使って閲覧可

各町内会で

ラジオ体操を!!

ラジオ体操は、適当な場所さえあれば、特段の経費を掛けることなく手軽に実施でき、高齢者の参加を促すことで、健康維持や見守りに役立つほか、多世代交流や地域コミュニティの形成などに効果を発揮します。



【神楽まち協広報誌編集委員会・編集後記】

委員会 会長 佐藤郁弘 副会長 岡 愛三 委員(会計)中條光廣 委員(監査)宮嶋睦子 事務局(神楽支所)

広報誌「神楽まち協」は、平成22年に発足した「神楽まちづくり推進協議会」の組織の概要、役割、取組事業内容・結果等について地域の皆様に、ご理解とご周知及びご協力を頂く事を目的に、平成30年より発行致しました。今年度はコロナ禍の影響で当初の会議及び事業の開催ができませんでしたので、年1回(前期・後期合併号)の発行にさせて頂きました。

当広報誌へのご意見ご要望がありましたらお知らせ願います。(佐藤 ☎65-4462 E-mail : kaguraoka.satou@gmail.com)

神楽地区高齢者の居場所づくり事業



楽しく歌ってストレス発散

「木楽輪」に毎月1回 歌サロンを開設



コロナ禍での自粛生活が続く中、地域の高齢者の皆さんに少しでも楽しく集う機会を提供しようと、昨年度に引き続き、毎月1回、神楽公民館「木楽輪（きらりん）」で、ピアノ伴奏に合わせて懐かしい童謡や歌謡曲などを歌うサロン（地域交流の場）を開設しました。

令和2年度は、公民館臨時休館後の6月から開始し、参加者の人数制限や検温、手指消毒、マスク着用による歌唱、換気、開催時間の短縮等、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながらの実施となりましたが、それでも年間約290人の皆さんが参加しました。

歌の合間には、「世界一下手な手品師」ミスターゼロのマジックショーや公民館の詩吟クラブの公演などもあり、毎月楽しみながら参加し、事業の継続を望む方が多いことから、実行委員会では、今年4月以降も開設しますので、是非参加してください。



生ピアノで歌って歌手気分!

詩吟の迫力は圧巻です

【日 時】初回は4月15日（木）、以降毎月第3木曜日
午前10時から11時まで

【会 場】神楽公民館「木楽輪（きらりん）」
（神楽3条6丁目）

【対 象】年齢を問わず、どなたでも参加できます。

【定 員】各回30名（※事前に実行委員会に申込みが必要）

【参加費】無料（※マスクを着用し、飲み物は各自持参）

【申込先】歌サロン「きらりん」実行委員会
旭川市神楽支所（☎61-6191）

神楽地区子どもの居場所づくり事業

クリスマス会などの催しもあるよ

こども食堂「楽っこルーム」

平成29年5月から神楽まち協の取組事業として始まった、子ども食堂「楽（ら）っこルーム」は、食材の提供や寄付金、参加費などをもとに、現在は神楽地区民生委員児童委員協議会を中心とした実行委員会が自主運営しています。

今年度はコロナ禍で2か月間開催できず、また、子どもたちと一緒に調理することをやめて、食事時間を2回に分けるなど、制約の多い中、多くの寄付をいただき、何とか開催することができました。ご支援・ご協力いただいた全ての皆様に、心よりお礼を申し上げます。

実行委員会では、このような状況下、「子どもの居場所はなくてはならない」と考えており、「楽っこルーム」を引き続き実施していきます。

【令和3年度の日程】

4月24日	5月22日	6月19日
7月17日	8月21日	9月18日
10月16日	11月20日	12月18日
1月22日	2月19日	3月12日

※何れも土曜日 10:30~12:30



「世界一下手な手品師」ミスターゼロも登場

【会 場】神楽公民館「調理実習室・交流室」

【参加費】子ども=無料 大人=300円

【連絡先】「楽っこルーム」実行委員会
会長 宮嶋（☎080-1885-3400）又は
旭川市神楽支所（☎61-6191）

食材などのご寄付も受け付けております

食べて・学んで・遊ぶ

神楽岡「岡っ子サロン」

当サロンは、平成30年より、市子育て支援部、神楽まち協委員、市民委員会、町内会、ボランティアの協力を得て運営しています。季節の食材を使って調理し、皆で楽しく頂きます。午後はプレーパークで運動します。



収穫体験・皆で調理・楽しく食べて・プレーパークで運動



子どものたちの自主学習を応援します

毎週土曜日に「学習室」を開設中

神楽公民館で開設中の「子どもの学習支援」は、活動が2年半を経過し、地域の小学校の協力も得て新たな参加者が増えるなど、感染症予防に細心の注意を払いながら、コロナ禍における「子どもの居場所」として、地域に定着しつつあります。

神楽まち協委員など地域の大人が見守る中、子どもたちが「学習室」に宿題やドリルなどを持ち込んで、熱心に勉強しています。高校生や大学生が教師役を務め、分からない事柄があれば優しく教えるなど、子どもたちの自主学習を応援しています。

今年度は、昨年4月から今年3月まで合計44回開設し、小中学生・教師役・見守り役の延べ約560人が参加しました。

また、学習室に出席する子は、こども食堂「楽っこルーム」にも参加できるなど、地域全体で子どもたちを見守る機運が広がりつつあり、実行委員会では、4月からも引き続き開設し、支援を行っていきます。

【開設日】毎週土曜日（休館日等を除く）

【時 間】午前9時30分から11時30分

【会 場】神楽公民館「交流室・第3学習室」
（神楽3条6丁目）

【対象・参加費】小中学生（高校生も可）・無料

【持ち物】学習教材、文房具、飲み物、マスク

【申込先】学習室「らっこ」実行委員会
旭川市神楽支所（☎61-6191）



自主学習で集中力アップ

教師役の高校生を募集中

実行委員会では、教師役の高校生（大学生可）を募集しています。

【謝 礼】交通費程度

【連絡先】宮嶋

☎080-1885-3400

【今後の開設日】5/15 6/13 7/17 8/21 9/18 10/16
11/13 12/11 1/22 2/12 3/12

【時 間】ふれあい食堂 9:30~12:30

学習支援・プレーパーク 13:00~15:00

【会 場】神楽岡地区センター（神楽岡12条2丁目）

【参加費】子ども=無料 大人=300円

【申込先】神楽岡地区子どもの居場所づくり実行委員会
会長 佐藤 郁弘（☎/FAX 65-4462 携帯☎090-1303-4462）

E-mail: kaguraoka.satou@gmail.com

神楽地区エコな地域づくり事業

SDGs 持続可能な社会の構築を!

譲り品情報掲示板

神楽市民交流センター入口に設置

神楽市民交流センター入口に「掲示板」を設置しています。

「譲ります」又は「譲ってください」の申込書を神楽支所に提出後、約3か月間掲示します。

譲り品の受渡しは「無償」が条件で、掲示してある申込書の連絡先を見て、当事者間の責任において行ってください。



（※連絡先を神楽支所経由でお知らせすることもできます。）

神楽岡地区センター1階サロンに設置



情報掲示板

掲示板に譲り品の登録用紙を掲示しています。譲り品は全て無償です。譲り受けたい方は、地区センター職員に申出て下さい提供者の連絡先を教えます。譲りたい方も申し出下さい。

◀地区センター入口に「学生服入れ」を設置しています。後輩に譲りたい方は、地区センター開館時間（9時~18時）内に入れて下さい。

制服等譲渡会を開催しました

3月7日（日）神楽岡地区センター

当事業では、ごみの減量を図るために、生ごみの堆肥化講習会や2R研修会、食品ロスの勉強会、譲り品の受渡し会等を開催してきましたが、今年度はコロナ禍の影響を考慮して学生服に特化した譲渡会を開催しました。

提供頂いた制服は60点以上、事前の申込の引取り数が34点ありました。 譲渡会の様子



残った物は、4月上旬頃迄神楽岡地区センター1階サロンに展示しています。

お持ち帰りは自由です。

◀地区センター展示状況

今年度も実施します、卒業生のご協力をお願いします。

【お問合せ】神楽地区エコな地域づくり実行委員会
会長 佐藤 郁弘（☎65-4462 携帯☎090-1303-4462）

神楽地区エコな地域づくり事業